

憩いの庭

北新潟キリスト教会新聞 7

2017年2月26日(日)発行(季刊)

「主は私の羊飼い。
主は私を緑の牧場に伏させ、
いこいの水のほとりに伴われます。」
(旧約聖書・詩篇23篇1～2節)

「耐え忍んで主を待て」

牧師・原山康伸

吹雪舞う厳寒の庭の片隅にふと目を留めると、昨年植樹された身の丈1m足らずのマンサクが細長い黄色の花弁を咲かせていました。枯渇した大地に早春の胎動は確かに始まっていますが、草木の開花の時までにはなお耐え忍んで待たねばなりません。

私たちの人生においても、いつまでも光の見えない凍土を歩くような時があるのではないのでしょうか。現在置かれている境遇に、行き詰まりや息苦しさを覚える。一方、別の生き方があるのではないかと思われる。二律背反の中で呻吟し思い悩む。聖書は、そのような人間の迷いやすい心中を察するように、「主の前に静まり、耐え忍んで主を待て」(詩篇37篇7節)と述べています。

思い悩む時に私たちの心はいたずらに動揺し、とうてい静まることができません。「主の前に静まり」とは、そのような自己との戦いの中で踏みとどまり、安全な不動の岸壁に錨を下ろすことによってもたらされる信仰による静かさです。神の領域と人に属する領域の境界線を認め、人間の手に委ねられていない事柄を、天地を支配しすべてを導いておられるお方の御手に一任し、信頼して忍耐強く祈り待ち望む姿勢です。 余寒なほ マンサクの花 ひそやかに 歴史を遡ること2000年ほど前、イエス・キリストはひとり十字架を背負って悲しみの道(エルサレムの郊外)を歩まれました。何一つ罪を犯したことがなく、神の国の福音を宣べ伝え、苦しみ悩む人に寄り添い、病める人々を癒し、自然界をも統べ治められたお方が、「ほふり場に引かれていく羊のように」口を開かず黙々と無抵抗であられました。「彼(キリスト)は、私たちの背きの罪のために刺し通され、私



たちの咎のために碎かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちは癒された。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた」(イザヤ書53章5～6節)。イエス・キリストは何一つ罪を犯さなかったにもかかわらず、全人類の罪を背負って死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順に父なる神さまの御旨に従われたのです。

十字架上で死なれたイエスさまの遺体は丁寧に整えられ、まだ誰も葬られたことのない新しい墓に納められました。弟子たちは失意落胆し、その心は深い悲しみの夜に閉ざされたのです。

死後足かけ三日目の朝まだきに、女性たちがイエスさまの遺体に香油を塗ろうと墓に駆けつけると、墓をふさいでいた大きな石が転がされ、墓の中が空になっているではありませんか！動いた墓石、空になった墓！イエス・キリストは死後三日目に、全能の父なる神さまによって死者の中からよみがえられたのです。聖書は、死後の命を理想や観念として描かず、イエス・キリストにおける復活の事実としてまっすぐに提示しています。今年も4月16日(日)には、イースター礼拝がささげられます。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」(ヨハネ11:25)

ひかり園入園募集

?????

<ホームページ> <http://www.hikari-en.net>

北新潟唯一のキリスト教保育園です。乳幼児の全人格成長を祈り、目には見えない神さまの力と温かい恵みに溢れた園です。ぜひ一度ご来園ください。

園長：有田和子

Te1. 080-5459-3805

「ひかり園」 新潟市北区島見町2001

「ひかり広場」 新潟市北区太夫浜2505-1

「音楽を通して、神の僕へ」 日比野則彦

幼少の頃の私は決して社交的ではなく、あまり競争が好きではありませんでした。大好きだった祖父がとても人徳のある方で、浄土真宗でしたがよく後生のお話をしてくれました。それで幼い頃から「死んだらどうなるのか」「永遠とは？」ということを考えていました。また音に関して人一倍敏感で、幼稚園でもお遊戯の時に一人耳を塞いでいるような変わった子供だったようです。

中学は吹奏楽部に明け暮れ、高校は受験勉強に開始した毎日でしたが、運良く大学に合格し、そこからジャズ三昧の日々が始まりました。あるコンテストで賞をいただき、それをきっかけに演奏の仕事が舞い込むようになりました。

転機は大学四年の時でした。就職活動で、私も銀行以外全業種行ったのですが、どうにもしっくりこず、ある外食チェーンに就職を決めました。自分で店を持てば演奏が続けられると思ったのです。ところがこれに両親は大反対。若気の至りだった私はサクソ一本を持って家を飛び出し、その足で早朝のトラック運転手の仕事と激安のアパートを借り、退路を断って音楽で身を立てる決心をしました。周りの友人が真っ当な就職を決めていく中、まったく先の見えない生活が始まりました。一年ほどして、パークリー音楽院の奨学金が下り、アメリカにも留学できることになりました。節約のため、飛び級を繰り返して1年3ヶ月で卒業し、カンザスシティに某外資系映画館の支配人として就職しました。カンザスシティはかつてジャズで栄えた町。仕事が終わると町に演奏に行く日々が始まり、一年の滞在のうちに町のジャズシーンにしっかり溶け込んでいました。その状況は次の赴任地の福岡でも同じでした。元来社交性のなかった私が、音楽というキーワードを通じて、自然と輪が広がるようになっていきました。その後、縁あってゲーム会社のコナミで作曲家として働くことになり、それから五年間、ハリウッドとの共作を含め、世界最高峰の音楽制作の現場を経験

しました。自分のスキルにも自信がつき、2005年より自分の制作会社をスタートしました。業績は順調で、当初の夢だったライブレストランを六本木にオープンし、マレーシアに子会社を作るまでに成長しました。ところがこの時、私は自分が「神」になってしまっていました。目標を立てて突き進む私に、スタッフは疲弊し入れ替わりも多く、私は最も信仰から遠いところにいました。

そんな時、愛子さんと出会いました。私が四面楚歌の状況と想像していた時、当時愛子さんの通っていた教会の牧師先生が、責めるでもなくただ一言「大変だったね」とおっしゃってくださり、心の底から本物の神の愛を実感しました。以来ほぼ毎日、二人で朝ディボーションの時を持つようにしています。今は夫婦が共に祈って示されないことに関しては進めないことにしています。今人生の折り返し地点に立ち、自分のための歩みから神の僕としての歩みへと方向を変えていきたいと思っています。

《北新潟キリスト教会の集会案内(毎週)》

主日礼拝：日曜日 午前10：30～12：00

教会学校：日曜日 午前9：30～10：00

聖書の学びと祈り会：水曜日 午後7：30～9：00

聖書を読む会：木曜日 午前10：30～12：00

他に聖句書道同好会、俳句同好会、ほっと会(火曜日、月1回)



〒950-3112 新潟市北区太夫浜2040-1

日本同盟基督教団 北新潟キリスト教会
牧師・原山康伸

TEL025(259)4491 (旧松浜教会、附属さんび園同窓会事務所)
<ホームページ> <http://www.kitaniigata-church.com>

当教会は、聖書を大切にするプロテスタント教会であり、エホバの証人(ものみの塔)や統一教会、モルモン教などとは関係がありません。安心してお出かけください。
